

総合的な
学習の時間

世界の水と私たちの暮らし

\ 関連するSDGs /



- ④氏名：川上 光陽
- ④学校名：鹿追町立鹿追小学校
- ④学年：5学年(33名)
- ④実施教科(領域)：総合的な学習の時間

6
CLEAN WATER
AND SANITATION

12
RESPONSIBLE
CONSUMPTION
AND PRODUCTION

17
PARTNERSHIPS
FOR THE GOALS

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：世界の水と私たちの暮らし
2. 単元の目標（評価規準を意識して設定）： ・ザンビアと日本を比較しながら、2つの国の生活用水の量や使い方の違いについて理解する。 ・水資源を大切に使うために、自分ができることを考え、行動しようとすることができる。

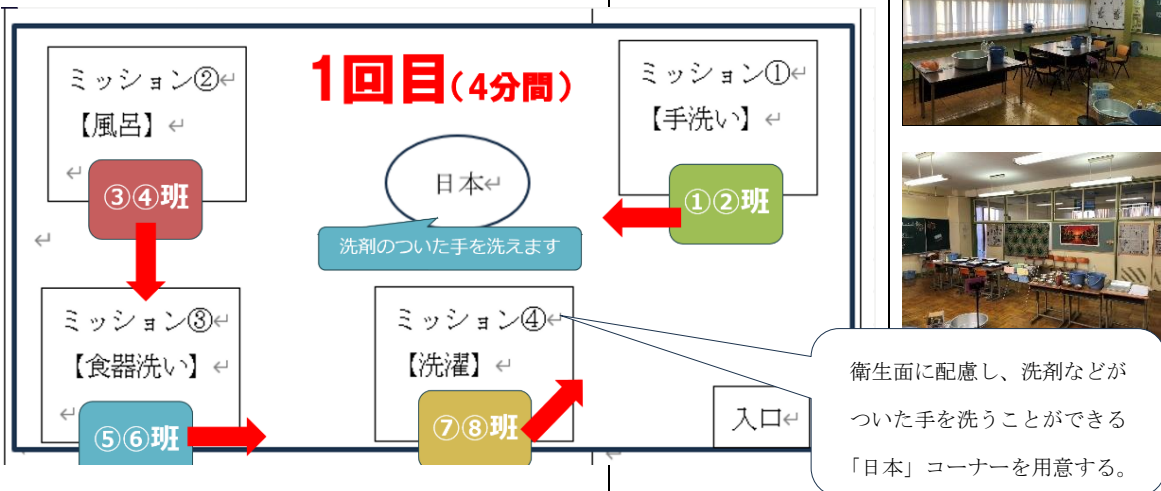
3. 単元の 評価規準	①知識及び技能	日本とザンビアの1日の水の使用量の違いを理解し、ザンビアの人々が、限られた水を工夫して使いながら生活していることに気付いているか。
	②思考力、判断力、表現力	限られた水を工夫して使うためには、どのように手洗い・入浴・食器洗い・洗濯をしたらよいか考え、表現しているか。
	③主体的に学習に取り組む態度	ザンビアの生活や文化に興味を持ち、水資源を大切に使うために自分ができることを考え、行動しようとしているか。
4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 ザンビア共和国を訪れた際の一番の衝撃は、気候変動による干ばつの影響である。1月から雨が降らないことにより、作物が育たず野生動物もあまり見られなかった。発電の90%以上を水力発電に依存しているため、都市部では計画停電が続いている。世界にはこのような環境で今も生活をしている人たちがいることを、日本の子どもたちにも知ってほしいと感じた。そして、当たり前のように安全な水を使うことができる日本人には水不足の問題は関係ないのか、人々の生活を支える上で最も大切な水資源をめぐる課題について、改めて目の前の子どもたちと共に考えたいと思い、本単元を設定した。	
	【単元の意義】 令和6年1月に起きた能登半島地震では1か月以上も断水が続いたことから、日本でも水が使えなくなることは十分考えられる。 限られた水で生活をするザンビアの人たちの暮らしから生きる知恵を学び、日本の水資源の循環の仕組みや、実生活における水の使い方を見つめ直す機会としたい。	

	【児童／生徒観】 鹿追町ではカナダのストニブレイン町との姉妹都市交流が盛んに行われているため、児童は学生との交流を通して外国の文化に触れる機会が多く、海外の文化への興味関心が高い。 また、児童は4学年時に水の循環について学習しており、地域の浄化センターの見学などを通じて、自分たちの使っている水がどこから来て、使った後の水がどうなるかを理解している。本単元の学習を通してザンビアと日本の暮らしを比較する中で、水を大切に使うための工夫について、主体的に考える姿が期待される。 【指導観】 ・「アフリカ」と聞くと、あまりにも遠い世界のように感じる児童も多い。まずは、実際の写真や映像を見せて丁寧に比較しながら、食生活や学校の様子に共通点が多いことを押さえる。ザンビアの生活について十分に理解を深めた上で、干ばつの話題に触れることで、児童の好奇心を強く刺激することができると思う。 ・水の量の感覚は、数値を見るだけではわかりにくい。そのため、手洗いなどを実際にやってみることで、より具体的にイメージできるようにしたい。疑似体験の際には、水を大切に使う工夫について児童が内発的に気付くことができるように、考える時間の確保と支援を行う。
--	--

5. 単元計画（全 4 時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	・ザンビアの位置や気候などの基本情報を知り、ザンビアの生活に興味関心を持つ。 ・日本の生活で普段使っている水に意識を向ける。	・日本とザンビアの写真を比較しながら、ザンビアの生活への理解を深める。 ・グループで話し合い、1日に日本人が使う水の量と、その内訳を考える。 ・水の循環図を見直す。	スライド 現地で撮影した写真 500mLのペットボトル 2Lのペットボトル 振り返りシート
2 3 本時	・ザンビアの農村部の暮らしについて理解を深め、限られた水資源を工夫して使う方法を考えて表現する。	・ザンビアの小学生になって1日20Lの水しか使えない生活を疑似体験する。（手洗い・風呂・食器洗い・洗濯）	スライド 現地で撮影した写真・動画 バケツや桶など 振り返りシート
4	・世界の水資源を大切に使うために、自分ができることを考え、行動しようとする。	・水を無駄にしないために、これからの生活の中で自分にできることを考え発表する。	スライド 振り返りシート

6. 本時の展開 (2・3 / 4) 本時のねらい： ザンビアの農村部の生活への理解を深め、限られた水を工夫して使う方法について自分の考えを持ち、表現する。			
過程・時間	教師の働きかけ発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (15分)	1. 前時のふり返し 「前回から、アフリカのザンビアという国について学習してきました。前回の授業の最後に皆さんから出た質問に答えます。」 ・トイレのレバーの「大」と「小」で2Lも違うんだ。 ・水は安いけれど、水道の水が使えないところもあるみたいだからなあ。 「日本人が1日に使う水の量についても確認しましたね。」 ・全部で300Lだった。 ・お風呂で使う水が1番多かった。	・児童から出た質問への回答 Q. 日本人が1回トイレを使ったときに流れる水の量は？ A. 大…8L、小…6L Q. ザンビアのスーパーで水を買うといくら？ A. 500ml のペットボトルの場合… K5～7 クワチャ (=30～42 円) ・日本人が1日に使う水の量 (300L) の内訳 風呂 …約 120L トイレ …約 63L 炊事 (飲み水含む) …約 54L 洗濯 …約 45L	
	2. ザンビアの人が1日に使う水の量 発問：では、ザンビアの人が1日に使う水は何Lでしょう？ ・日本よりは少なそう。 ・暑い国だから、たくさん必要だと思う。	・Q. ザンビアの人が1日に使う水の量は？ A 20L ②100L ③300L ④1000L A. ①約 20L ※農村部 ②約 100L ※都市部	
	発問：なぜこんなに少ないのでしょうか？ ・雨が降らないから。 ・水を買うお金がないから。	農村部と都市部では、水の使用量に大きな差があることを押さえる。	
展開① (30分)	3. 本時の課題 「みなさんは1日20Lの水で生活できそうですか。」 「今日はみなさんにザンビアの小学生になって、実際に手洗いや洗濯を体験してもらいます。」 課題：ザンビアの小学生になって水を使ってみよう		
	4. ザンビアの農村部の暮らしの疑似体験 (1回目) 「この教室の隣にスモールザンビアがあります。これからみなさんで向かい、4つのミッションに挑戦してもらいます。」 ① 8～9人1組のグループを4つ作る。 ② 多目的室に移動し、4か所のブースを順番に回り、ミッションをこなしていく。 (活動5分+移動・準備1分) ×4回	グループで家族として1日を過ごすことを伝え、分け合って使う意識を持たせる。 それぞれのブースには教員を1人ずつ配置し、児童の支援を行う。	

スモールザンビア（多目的室） 会場図



ミッション①【手洗い】1日あたり(1人分)1L
ザンビアの農村部では手洗いは平均5回。
1日に手洗いに使える水は一人あたり1L。
したがって1回の手洗いで?mL 使えることになる。

【ミッション内容】

2L のペットボトルの水と石けんを使って全員が1回ずつ手を洗う。

※1家族(グループ)につき、2Lしか使えないので注意。

～使えるもの～

石けん・ペットボトルの水・タオル・バケツ(汚れた水用)

ミッション②【お風呂】1日あたり(1人分)6L
ザンビアのこの村にはお風呂やシャワーはない。
お風呂に使えるのは、1人あたりバケツ1杯の水のみだ。
実際に体を洗うわけにはいかないので、君たちの分身(人形)を用意した。

【ミッション内容】

分身の体を石けんを使って洗い、バケツの水で流す。タオルでふく。

※バケツの水は家族の最後の一人が使い終わるまで、足したり変えたりしない。使い方を工夫しよう。

～使えるもの～

石けん・バケツ・水・おけ(汚れた水用)

ミッション③【食器洗い】1日あたり4L
ザンビアのこの村のキッチンではシャワーはもちろん、水が使えない。
食器を洗うときは、外で行う。

【ミッション内容】

汚れのついた皿を、2つのバケツに入った水を使って1人1枚ずつ洗う。

※バケツが2つある意味を考えよう。

～使えるもの～

バケツ×2

ミッション④【洗たく】1日あたり4L
ザンビアのこの村に洗濯機はない。
1日の洗濯に使えるのはバケツ1杯の水だけだ。
ちなみに乾燥しているので、洗濯ものは次の日にはすぐに乾く。

【ミッション内容】

バケツ1杯の水で、家族全員分の洗濯もの(ふきん)を洗う。

～使えるもの～

おけ・洗剤・水・物干しざお・たわし

何名かの児童を指名し、感想を共有する。

- ・ザンビアの人たちが少ない水を大切に使用していることが分かった。
- ・一度使った水を何回も使わなければならないことが分かった。
- ・洗濯で、すすぐことができないことが大変だった。

展開②
(15分)

5. 作戦会議

教室に戻り、それぞれの班にミッションを1つずつ割り当てて、水の使い方の工夫について掘り下げて考えさせる。

展開③ (20分)	例) 1 班・・・風呂 2 班・・・手洗い 3 班・・・洗濯 4 班・・・食器洗い 発問：少ない水で手洗いや洗濯をするには、 どんな工夫をしたら良いでしょう？ 【風呂】 ・よく汚れるところだけを洗う。 ・優先順位の高いところから洗う。 ・少しずつ使う。 ・シャンプーを使わない。 【手洗い】 ・なるべく水を出しすぎない。 ・みんなで集まって使う。 ・一人で使いすぎない。 ・1 度に使う石鹸の量を少なくする。 【洗濯】 ・最初に使いすぎない。 ・石鹸を少しずつ使う。 ・バケツを増やして分けて使う。 【食器洗い】 ・一度に洗って一度に流す。 ・泡を拭いてから水でぬらす。 ・水をためて使う。 6. ザンビアの農村部の暮らしの疑似体験 (2 回目) 「割り当てられたミッションで、実際に水の 使い方を工夫できるか試してみましょう。」 何名かの児童を指名し、感想を共有する。 ・水が少ないと、毎日の生活が大変だとわかつた。 ・1 回目よりも大切に水を使うことができた。 7. ザンビアの農村部の生活の様子が分かる 映像 「私はザンビアの農村部に行ってきました。 手洗いや洗濯など、実際にザンビアの人たちが どうやって生活をしているのか見てみましょ う。」 ・水は少ないかもしれないけれど、楽しそ う。 ・乾燥しているから、洗濯物がすぐに乾く のは良いなあ。	自分たちの考えた工 夫を発表して共有す るだけでなく、他の グループに対する助 言も積極的に行うよ うに支援する。 現地の方たちの明る い暮らしぶりが伝わ るようにする。	現地の写真や動画 ・現地の方たちによ る歓迎の歌と踊り ・井戸の水 ・汲み取り式トイレ ・Tippy-Tap ・食事 ・風呂
----------------------	--	---	---

まとめ (10分)	・ 桶 1 杯でお風呂の代わりにするのは大変そう。自分たちが考えたやり方で本当にやっていった。 ・ 1 度使った水も大切に何回も使うんだ。 「今日は、世界には限られた水で毎日生活している人達がいることをみなさんに知ってもらいました。では、水を使いたいときに好きなだけ使える日本には、世界の水不足の問題は関係ないのでしょうか。」 ・ 地震のときなど、日本でも水が使えなくなる時があるかもしれない。 「次回は鹿追町で、みなさんができる水を大切に使う方法について考えたいと思います。」 8. 活動の振り返り 「今日の学習で新しく気づいたことや学んだこと・感想などをワークシートに書きましよう。」	限られた水を工夫して使う背景には、衛生面の問題もあることに気付かせる。 児童の実態に配慮した上で、災害時の写真を扱う。	能登半島地震の断水の様子が分かる写真 振り返りシート 参照：63～66 ページ
7. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ザンビアの農村部の生活への理解を深め、限られた水を工夫して使う方法について自分の考えを持ち、表現することができたか。（行動観察・振り返りシート）			

【参考資料】

資料および外部との連携

東彦弥著『未来の授業 私たちの SDGs 探究 BOOK』、宣伝会議、2021 年

開発教育研究会著『SDGs 実践教材集 身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ―「自分ごと」して学ぶ 17 ゴール』、明石書店、2022 年

島田周平・大山修一著『ザンビアを知るための 55 章』、明石書店、2020 年

HP 2019 年世界水の日報告書：隠れた水―Beneath the Surface：

<https://www.wateraid.org/jp/publication/beneath-the-surface>

HP 「生活[わたしたちが毎日使う水]」 <https://mizuiku.suntory.jp/kids/study/k023.html>

HP 「南部アフリカ地域の干ばつに対し日本政府から緊急支援」

https://ja.wfp.org/news/KR_for_southafrica

HP 「水資源の利用状況-国土交通省」

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizukokudo_mizsei_tk2_000014.html

【自己評価】

苦勞した点	・ザンビアの水の問題をきっかけに、日本の子どもたちにどうやって水の問題を自分事ととらえさせたらよいのか、考えることが大変だった。 ・ザンビアの実体験から伝えたいことがたくさんある中で、写真や映像、現地で聞いたエピソードなどの情報の取捨選択が大変だった。伝えたいポイントを絞り切れていないと、児童の中に何も残らない授業になってしまうことが懸念された。 ・教師側が伝えたいことに、児童が内発的に気付くことができる手立てを考えることが難しかった。
改善点	・ザンビアの暮らしと比較することで、「水を無駄遣いしない工夫」について、児童はたくさんのアイディアを出していた。しかし、「5年生」という発達段階に合わせて日本の水問題を考えると、そこからさらに「水を汚さない工夫」や「下水処理の工夫」についても深められるとよかった。 ・現地研修を通じて知り合うことができたザンビアの方の生活に焦点を当てて1日の様子を撮影してもらい、映像が共有できると、児童はより具体的な暮らしのイメージが持てたのではないかなと思う。 ・手洗いによる洗濯の仕方を知らない児童が多く、「水の使い方」よりも「洗濯の仕方」に意識が向いてしまう場面が見られた。事前に日本の手洗いの方法を全体で確認しておく必要があった。
成果が出た点	・多目的教室を「スモールザンビア」とし、ザンビアの生活を疑似体験できる空間を作ったことで、児童は楽しみながら活動に参加していた。また、1日に使うことができる水の量の感覚や使い方の工夫、ザンビアの農村部と日本の暮らしぶりの違いについて、児童は実感を伴って気付くことができていた。 ・ザンビアの水不足の話題に触れた後、児童から「日本も災害のときには水不足になるかもしれない」という発言があり、教師側から働きかけがなくても、水不足を身近な問題としてとらえられていた点がよかった。 ・児童が水の問題を自分事としていたので、大切に水を使おうという意識が芽生え、授業が終わった後の行動にも変容が見られた。

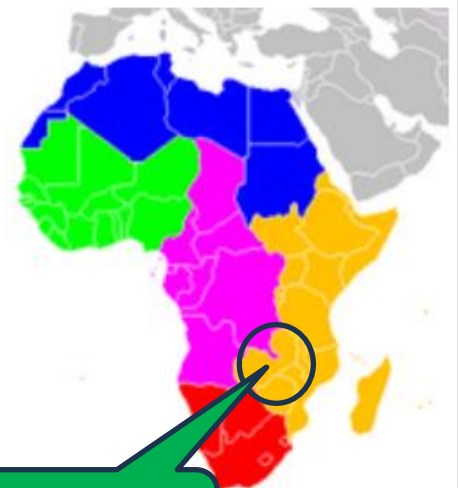
学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	【振り返りシートより】 ・ザンビアでは、限られた水の中で毎日手を洗っていることを知ってびっくりした。 ・実際にやってみると、わたしたちは、ちょっとの水の量じゃ洗濯とかができないことが分かった。 ・お風呂の体験の時に、小さな人形だから洗えたけれど、ザンビアで使う水の量だと、自分の体は洗えないと思った。 ・必要な分だけの水を使うことを、今からしたいと思う。 ・水を節約することも大事だけれど、全く使わないのもよくないと思った。 ・水が使えないときに濡らしたら膨らむスポンジを食器洗い、洗濯、風呂に使えば節約できると思った。 ・災害の時などは、タオルに水をしみこませて体を拭くようにしようと思った。 ・ためた水を使っていっぺんにやると水を無駄にしなくて済むとわかった。(食器洗い)
授業者による自由記述	授業を行うにあたって大切にすることは、「ザンビアの方たちが、私たちが何を、どのように日本の子どもたちに伝えることを望んでいるか」を常に頭に置くことだ。子どもたちが「水が足りないザンビアの人たちがかわいそう。」「日本にいてよかった。」と思うことは決して望んではいないだろう。 そこで、干ばつの影響を受けながらも、家族や友人と助け合い、工夫を凝らしながらたくましく生きる姿や、目の前にいる人たちとの時間を大切に、今を幸せに過ごす姿こそ日本の子どもたちに伝えるべきだと考え、本単元を設定した。 ザンビアの人たちが互いに助け合い、少ない水を工夫しながら使う様子を見て、本校の児童から「ザンビアの人たちはすごい!」「ザンビアで生活してみたい!」という声が上がったことは私にとって大きな成果だった。 ザンビアで出会った人たちとのつながりを大切に、これからも研修での学びを目の前の子どもたちに還元していきたいと思う。
次年度以降の取組予定	今年度は5学年で授業を行ったが、次年度の5学年、理科の授業や郷土体験学習で水について学習する4学年でも、さらに改良した授業を実践したいと考えている。

(教材：振り返りシート)

【総合】世界の**水**と私たちのくらし

5年 名前 ()

○時間目	【今日の目標】	【振り返り】 気づいたこと・気になったこと・感想など
① 月 日	生活に欠かせない 水について考えよう	
② 月 日		
③ 月 日		



Zambia

(生徒さんの実際の回答①)

【総合】世界の水と私たちの暮らし



5年 名前 ()

○時間目	【今日の目標】	【振り返り】 気づいたこと・気になったこと・感想など
① 10月9日	生活に欠かせない 水について考えよう	1日お風呂の水を糸勺120Lつかっていること に気づいた。 1日家族全員1Lを糸勺10Lつかっているか 気になった。
② 10月18日	ザンビアの小学生にな て水を使ってみよう。	ザンビアの水がたりなくてあまりお水が おとせなかった お風呂のときに小さいお風呂だからあ げるとおとせなくてあまりあ らえない。
③ 10月25日	わたしたちにできる 水を大切に使う工夫 を考えよう	いろいろな水の使いかたがわかった。

★わたしたちにできること
・あまり水を使わないようにする
・ゴミを海にばいすてしない



Zambia!

(生徒さんの実際の回答②)

【総合】世界の水と私たちの暮らし



5年 名前 ()

○時間目	【今日の目標】	【振り返り】 気づいたこと・気になったこと・感想など
① 10月9日	生活に欠かせない 水について考えよう	12月～4月は雨季なのに、1月～8月まで大っぴ の雨はふっていないで水にこまっていること を知ってびっくりした。
② 10月21日	ザンビアの 小学生になって 水を使ってみよう	ザンビアでは、水を使う量が少ないのが分かった
③ 10月25日	わたしたちにできる 水を大切に使う工夫 を考えよう	水を大切に使うことが大事だと分かった。

★食べ物がお皿の上に残っていたらちゃんと
食べる。そうすればお皿洗いに
あまり水を使わずに洗えるから節
水になる



Zambia!

(生徒さんの実際の回答③)

【総合】世界の水と私たちの暮らし



5年 名前 ()

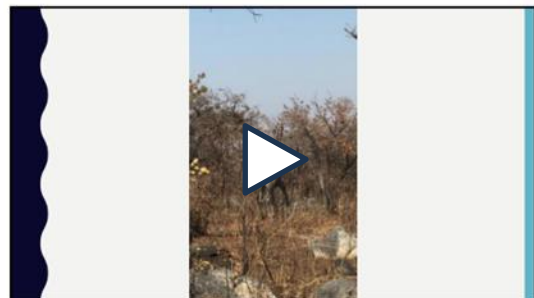
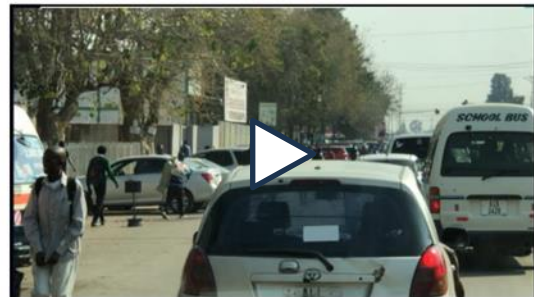
○時間目	【今日の目標】	【振り返り】 気づいたこと・気になったこと・感想など
① 10月 9日	生活に欠かせない 水について考えよう	以外にお風呂が多くてびっくりした。
② 10月18日	ザンビアの小学生に なつて水を使ってみ よう!	食器あらいがあわてあんまり おかせなかった。
③ 10月 25日	私たちにできる水 を大切に使う工夫 を考えよう。	水を大切にしないで大切にする

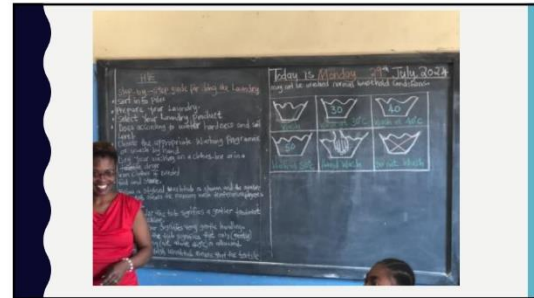
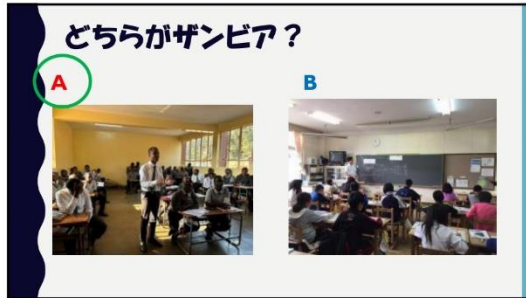
★水を大切にしない。
手あらいの時せっけんをつけてる時
は水をださなくて使う時だけ水を
だすようにする。

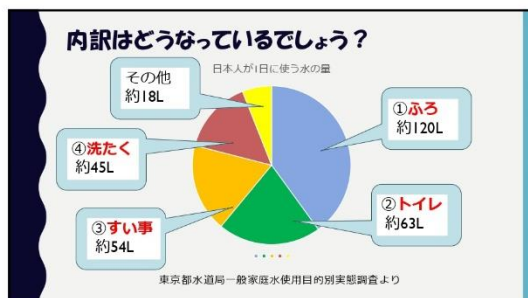
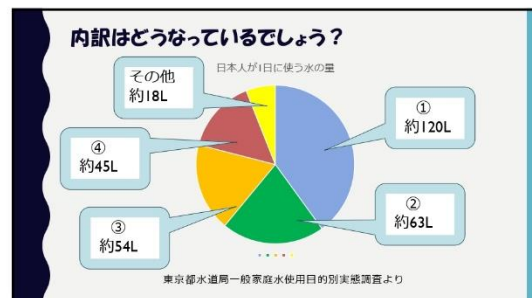


Zambia!

進行中 スライド







次回 ザンビア編へ

続く

これらの写真に共通するのは？



世界の水と
私たちの暮らし②



7/27 ~ 8/6 2024 in Zambia

前回の質問

Q. 日本人がトイレを1回使ったときの水の量は？

標準的なトイレの洗浄水量は10L便器の場合、**大レバーが10L、小レバーが8L**になります。

出典：トイレQ&A | 一般社団法人 日本レストルーム工業会、トイレナビ

前回の質問

Q. ザンビアのスーパーで水を買うと、いくら？

500MLのペットボトル

=K5~7 (クワチャ)
=30~42円




ザンビアの人1人が1日に使う水の量は？

① 20L 農村部

② 100L × 50本 都市部

③ 300L × 150本

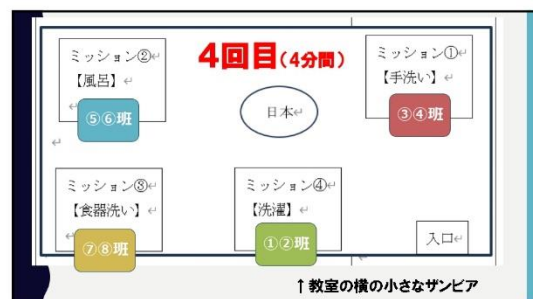
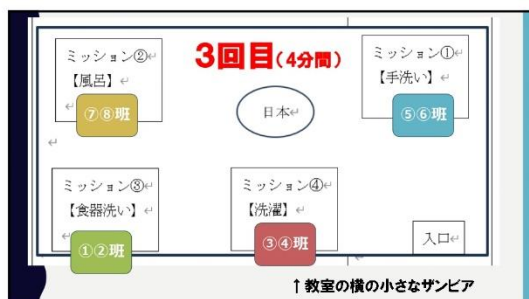
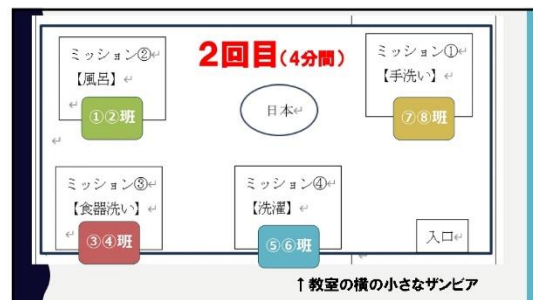
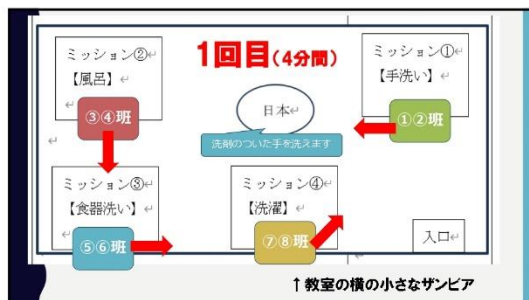
④ 1000L × 500本



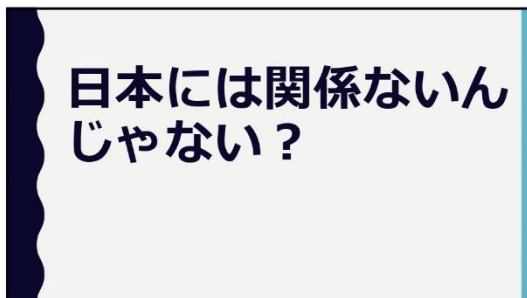
ザンビアの 小学生になって 水を使ってみよう！

～ルール～

- ・2つの班ずつ、8～9人の家族になる。
- ・「小さなザンビア」（多目的室）の水に関する4つのミッションにグループで1つずつ取り組んでいく。
- ・1つのミッションにつき4分＋1分準備・移動
- ・ミッションの中身については後ほど・・・







MISSION1【手洗い】 1日あたり（1人分） **1 L**

ザンビアの農村部では手洗いは平均5回。
1日に手洗いに使える水は一人当たり1L。
したがって1回の手洗いで？mL使えることになる。

【ミッション内容】
2Lのペットボトルの水と石けんを使って全員が1回ずつ手を洗う。
※1家族（グループ）につき、2Lしか使えないので注意。

～使えるもの～
石けん・ペットボトルの水・タオル・バケツ（汚れた水用）

MISSION2【お風呂】 1日あたり（1人分） **6 L**

ザンビアのこの村にはお風呂やシャワーはない。
お風呂に使えるのは、1人あたりバケツ1杯の水のみだ。
実際に体を洗うわけにはいかないの、みんなの分身（人形）を用意した。

【ミッション内容】
分身の体を石けんを使って洗い、バケツの水で流す。タオルでふく。
※バケツの水は家族の最後の一人が使い終わるまで、足したり変えたりしない。使い方を工夫しよう。

～使えるもの～
石けん・バケツ・水・おけ（汚れた水用）

MISSION3【食器洗い】 1日あたり 4 L

ザンビアのこの村のキッチンではシャワーはもちろん、水が使えない。食器を洗うときは、外で行う。

【ミッション内容】
汚れのついた皿を、2つのバケツに入った水を使って1人1枚ずつ洗う。
※バケツが2つある意味を考えよう。

～使えるもの～
・バケツ×2

MISSION4【洗たく】 1日あたり 4 L

ザンビアのこの村に洗濯機はない。
1日の洗濯に使えるのはバケツ1杯の水だけだ。
ちなみに乾燥しているの、洗濯ものは次の日にはすぐに乾く。

【ミッション内容】
バケツ1杯の水で、家族全員分の洗濯もの（ふきん）を洗う。

～使えるもの～
おけ・洗剤・水・物干しざお・たわし

**世界の^水と
私たちの暮らし③**



7/27 ~ 8/6 2024 in Zambia

2024年8月15日
南部アフリカ地域の干ばつに対し日本政府から緊急支援



お問い合わせ
For more information, please contact
JICA 国際協力本部 国際協力課 広報 広報
国際協力本部 info@jica.go.jp
国際協力本部 info@jica.go.jp
国際協力本部 info@jica.go.jp



南部アフリカ地域は、エルニーニョ現象による史上最も深刻な干ばつの影響で、深刻な食料不安に直面しています。この地域では人口の約10人に1人が重度の食料不足に陥っており、干ばつによる農作物の不作と生計手段の喪失により、2700万人の人々が深刻な影響に陥っています。干ばつなどの気候変動の影響により、食糧不足の状況にさらされています。この状況は、南部アフリカ地域の食料安全保障を脅かしています。干ばつなどの気候変動の影響により、食糧不足の状況にさらされています。この状況は、南部アフリカ地域の食料安全保障を脅かしています。

特に子どもの栄養への影響が甚大で、2100万人の子ども（地域の子どものおよそ3人に1人）が栄養不良の状況にあります。次の収穫期である来年3月まで食料が尽きると予想されるため、さらなる栄養不良の悪化を防ぐために緊急の支援を必要としています。

この危機に対し、日本政府からWFP 国連世界食料計画（WFP）は緊急の無償資金協力を提供し、干ばつの影響を受ける人々への食料支援を実施します。

ザンビアでは、日本政府からの200万米ドルの支援で、4万2000人に対し、命を救う緊急の食料と栄養支援を実施します。

ザンビアでは、日本政府から50万米ドルの支援を受け、2万7000人に対し、食料引換券を配布します。

**限りある水を、どう
使えばいいのら
う？**

MISSION1 【手洗い】 1L
ザンビアの少ない水で手を洗うには？

- ・なるべく水を出しすぎない
- ・みんなで集まって使う
- ・一人で使いすぎない
- ・石鹸を少なくする
- ・他国から水をもらう

MISSION2 【風呂】 6L
ザンビアの少ない水でお風呂を済ませるには？

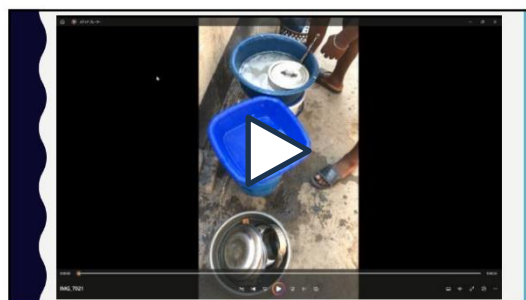
- ・よく汚れるところを洗う
- ・優先順位の高いところを洗う
- ・少しずつ使う
- ・シャンプーを使わない

MISSION3 【食器洗い】 4L
ザンビアの少ない水で食器を洗うには？

- ・いっぺんに洗っていっぺんに流す。
- ・ご飯の回数を減らす。
- ・泡を拭いてから水でぬらす。
- ・食器をよごさない。

MISSION4 【洗濯】 4L
ザンビアの少ない水で洗濯するには？

- ・2を二つに分けて洗う 石鹸用 水用
- ・最初に使いすぎない。
- ・石鹸を少しずつ使う
- ・2人1組
- ・バケツを増やして分けて使う。





私たちにできる
水を大切に使う工夫
を考えよう！



旅

の

思

い

出

わたしの一枚

タイトル： 似ているようで日本と逆??



写真を撮った場所： ザンビア 農村部の畑

農業開発の様子を視察した時のネギ畑の写真である。よく見ると、日本の畑のように水捌けを良くするための畝(うね)はなく、水を貯め込む形になっている。干ばつの影響を受ける中、環境に合わせた畑作りの工夫をしている様子がとても印象的だった。自分の「畑」の常識が覆された瞬間だった。ネギの他には、主食になるトウモロコシやトマトの畑が多かった。現地の方からは、野菜や果物は、水分を確保するためにとても大切だと伺った。「水分を取るためにトマトを食べる」という考え方も私にとっては新鮮だった。日本に帰ってきた今も、雨の日になると、ここで出会ったザンビアの方たちの顔を思い浮かべるようになった。

氏名： 川上 光陽

学校名： 鹿追町立鹿追小学校